



大治町ブランドロゴマークが 住民投票で決定しました！

プロジェクトで見えたのは、大治町にはこのまちを大切に思う人がたくさんいるということです。この地元愛をもっと大きく育てて、誇りに思えるまちへと成長していきたい。そんな想いを込めたキャッチコピー「**名物は、地元愛。**」が生まれ、複数の候補からみなさまの投票でブランドロゴマークが決定しました。



大治町の名物といえば、何でしょうか。

赤しそ、モロヘイヤ、大治太鼓、つるし飾りなどありますが、
私たちが最も誇りに思うのは、大治町への地元愛です。

ここには名産や伝統を守りつづけてきた人がたくさんいる。
このまちが好きだと言ってくれる子どもたちがたくさんいて、
その成長を応援したいという大人たちもたくさんいる。
ほっと和めるまちには、ホットな想いがあふれています。

この大治町の魅力を、さらに大切に、
すべての人が愛せるまちへ、もっと大きな愛情を持てるまちへ。
そして、その想いをつなげて、まちの絆へと育てていきます。

日本でも数少ない人口が増え続けているまち、大治町。
その大きな可能性を、地元愛でどこまでも大きくしていきましょう。

[ブランドロゴマーク制作意図] 大治町の多様な魅力と、その軸にある「地元愛」を表現しました。ブランドロゴマークを構成する、それぞれのかたちの意味は以下の通りです。



子どもと大人が手を取り合い作る「地元愛」



繋がり輝く大治の大地



大治太鼓



大治せんべい



モロヘイヤうどん



つるし飾り



日本初の眼科治療院
明眼院



庄内川や新川の
水の流れ



ほどよい自然環境



町民の憩いの場
浄水場公園



赤しそ

みなさまの声や一票から生まれたキャッチコピーとブランドロゴマークは、今後、まちの様々な場で使われていきます。
見かけた際には、大治町への地元愛をぜひお確かめください。

たくさんのご参加ありがとうございました。